



# 平成27年度



# こうちこどもファンド事業報告書



# 【目次】

1	平成27年度「こうちこどもファンド」事業スケジュール・・・	1
2	「こうちこどもファンド」の助成を決定する審査員・・・	3
3	こうちこどもファンド公開審査会	・・・ 5
4	助成団体の活動	・・・ 12
5	こうちこどもファンド 助成団体活動発表会	・・・ 13
6	高知市子どもまちづくり基金 平成27年度実績	・・・ 32
7	プラチナ大賞にて審査委員特別賞受賞	・・・ 33
8	今後に向けて	

## 【資料編】

★高知市子どもまちづくり基金条例

★高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

★平成27年度活動発表会アンケート結果

・一般来場者

・発表団体向け(対象:子ども)

・応募団体向け(対象:大人サポーター)

★「こどもファンド通信」第14号(平成27年5月発行)

★「こどもファンド通信」第15号(平成27年7月発行)

★「こどもファンド通信」第16号(平成27年11月発行)

★「こどもファンド通信」第17号(平成28年3月発行)

★平成28年度こうちこどもファンド助成事業募集チラシ

★第5期こども審査員募集チラシ



## ごあいさつ

平成 27 年度も「こうちこどもファンド」の助成グループの皆さんから、素晴らしいまちづくり活動のご報告をいただきました。1 年間の活動、そして複数年に渡って取り組んでいる活動もございました。どのグループの活動も、地域で高い評価を受けておられますことに、心から敬意を表します。

この「こうちこどもファンド」ですが、市民の皆様のご協力や民間の方々からのご寄付など、様々なご支援をいただきながら、4 年目を迎えております。こどもたちはそれぞれの地域で、非常に熱心に活動しておりますが、これも地域の応援団の方々など、多くの皆様の支えのおかげです。心から感謝を申し上げます。

また、制度創設から携わっていただいております卯月先生、こども審査員の皆さん、そしていつもお付き合いいただいている大人審査員の方々、皆様方のおかげで、今回の活動発表会を開催し、事業報告書をまとめることができました。改めて感謝を申し上げます。

この度の活動報告を見て思いましたのは、こどもたちの活動が地域でのいろいろな団体の連携につながり、まちづくり活動がさらに広がりを生み出していることや、防災や安心安全、そして「食」などの市民の皆さんにとっても関心の高いテーマにこどもたちが取り組んでいるということです。

皆さんのこれまでの活動を発表会で終了するのではなく、次の世代や後輩の方々にバトンタッチし、これからも継続していけるよう、積極的に活動の和を広げていただけましたら、幸いです。

最後になりますが、まちづくり活動に取り組んだ皆さんの今後の活躍と、応援していただいた地域の皆様、そして審査員の皆様に感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

皆さん、今後とも頑張ってください。ありがとうございました。



高知市長 岡崎 誠也

# 1 平成27年度「こうちこどもファンド」事業スケジュール

	運営等	広報等
1月		5日 民生委員児童委員協議会役員会で事業募集、第4期こども審査員募集の周知 6日 民生委員児童委員協議会会長会で事業募集、第4期こども審査員募集の周知 9日 県立高校長会で事業募集、第4期こども審査員募集の周知 15日 市小中校長会で事業募集、第4期こども審査員募集の周知 20日 市青少年育成協議会役員会で事業募集、第4期こども審査員募集の周知 —事業募集、第4期こども審査員募集チラシ配布開始—
2月		1日 青少年育成フォーラムでチラシ配布 随時 コミュニティ計画推進市民会議定例会でチラシ配布
3月	15日 事前説明会① (会場：市民活動サポートセンター) 20日 第4期こども審査員面接・選考会	8日 高知市子ども会連合会で事業募集、第4期こども審査員募集の周知 こどもファンド通信(第13号) 発行
4月	5日 事前説明会② (会場：市民活動サポートセンター) 12日 事前説明会③ (会場：市民活動サポートセンター)	8日 高知市子ども会連合会で事業募集、第4期こども審査員募集の周知 こどもファンド通信(第13号) 発行
5月	8日 助成事業応募締め切り	こどもファンド通信(第14号) 発行
6月	14日 事前研修会(こども審査員) 21日 公開審査会 (会場：市保健福祉センター)	
7月		こどもファンド通信(第15号) 発行
8月		
9月		平成27年度公開審査会報告書 発行
10月	助成団体の活動期間	
11月		こどもファンド通信(第16号) 発行
12月		

<p><b>28年1月</b></p>	<p>↓</p>	<p>4日 民生委員児童委員協議会役員会で事業募集、第5期こども審査員募集の周知  6日 民生委員児童委員協議会会長会で事業募集、第5期こども審査員募集の周知  15日 市小中校長会で事業募集、第5期こども審査員募集の周知  一事業募集、第5期こども審査員募集チラシ配布開始一</p>
<p><b>2月</b></p>	<p>↓</p>	<p>1日 青少年育成フォーラムでチラシ配布  随時 コミュニティ計画推進市民会議定例会でチラシ配布</p>
<p><b>3月</b></p>	<p>20日 第5期こども審査員応募者面接  (会場：市南部健康福祉センター)  20日 活動発表会  (会場：市南部健康福祉センター)</p>	<p>こどもファンド通信(第17号)発行</p>

## 2 「こうちこどもファンド」の助成を決定する審査員

「こうちこどもファンド」の審査は、「大人審査員」と「こども審査員」が一緒に行います。「大人審査員」は、学識経験者や民間企業関係者、まちづくり活動関係者、行政などの分野、7名で構成されています。「こども審査員」は、平成27年度は、小学校4年生から中学校3年生まで第4期こども審査員11名で構成されました。

「こども審査員」に就任した子どもたちへは、審査会の1週間前に、こどもファンドの事業趣旨を学ぶとともに、自分たちが審査する時のポイント（審査項目）を話し合い、決定してもらうため、「事前研修会」を開催いたしました。「こども審査員」のサポート役として、「こども審査員サポーター」を引き続き配置し、審査ポイントを話し合う際の、子どもたちの意見の引き出し役や、公開審査会当日、こども審査員を影で支援する役割を担っていただきました。

また、審査項目を決定した後、当課の職員がプレゼンテーションを行う模擬審査で、決定したばかりの審査項目に添って実際に審査を体験してもらい、1週間後の公開審査会本番に備えました。

また「事前審査会」では、応募グループから出された申請書の内容について「大人審査員」と「こども審査員」が情報を共有しました。



【事前研修会】審査項目を話し合う  
「こども審査員」と「こども審査員サポーター」



【事前研修会】模擬審査会



【事前審査会】



【公開審査会】

申請団体側のサポートとしては、「こどもファンドアドバイザー」を配置し、①こどもファンドへ応募するまでの企画を検討するとき、②応募後、公開審査会での発表方法を考えるとき、③助成決定後、活動に取り組みだしたとき、の3段階におけるアドバイスや、活動発表会時の交流会の司会進行を行っていただきました。



【アドバイザー派遣】



【活動発表会（交流会）】

## こども審査員

<u>家古谷 優</u> （けごや まさる）	高知中央高校3年
<u>松岡 陽</u> （まつおか ひなた）	小津高校1年
<u>西田 友紀</u> （にしだ ゆき）	岡豊高校1年
<u>大原 正裕</u> （おおはら まさひろ）	高知学芸高校1年
<u>押川 真希</u> （おしかわ まき）	附属中学校3年
<u>大原 弘靖</u> （おおはら ひろやす）	附属中学校2年
<u>田部 祥一郎</u> （たべ しょういちろう）	第六小学校6年
<u>宇賀 みくも</u> （うか みくも）	旭東小学校6年
<u>森本 向日葵</u> （もりもと ひまり）	大津小学校6年
<u>松下 藍花</u> （まつした あいか）	旭小学校6年
<u>青木 晴楓</u> （あおき はるか）	はりまや橋小学校4年

## 大人審査委員

<u>審査委員長 卯月 盛夫</u>	早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授
<u>審査副委員長 古谷 純代</u>	高知サンライズホテル 専務取締役
<u>審査委員 梶 英樹</u>	高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター特任助教
<u>審査委員 廣井 綾乃</u>	(株)四国銀行
<u>審査委員 松原 和廣</u>	高知市教育長
<u>審査委員 坂本 導昭</u>	高知市市民協働部部長
<u>審査委員 山川 瑞代</u>	高知市こども未来部部長

## サポート役

<u>こども審査員サポーター 川元 雅一</u>	(高知市教育委員会学校教育課 指導主事)
<u>こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行</u>	

※役職・学年等は平成27年度のものです

### 3 こうちこどもファンド公開審査会

日時:平成 27 年 6 月 21 日(日) 13 時 30 分～17 時

場所:高知市市保健福祉センター3階 大会議室

参加者:約 100 名



#### 開会 (13:30～)

☆開会のあいさつ 高知市副市長 吉岡 章

☆審査員等の紹介

☆審査の流れ

#### 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答 (13:40～)

☆NSP(ナンカイ サバイバル プロジェクト)おたすけ隊

☆一宮家おもてなし隊

☆瀬戸東町1・2丁目元気キッズ

☆高知南高校QOLの会

☆Food Treasure Hunter in Namegawa!

☆APA(あったかハートで安心・安全プロジェクト Asahi)守るんジャー

#### こども審査員による一次判断 (14:40～)

#### 審査員による公開審議 (14:55～)

☆応募団体への審議

☆提案など

☆大人審査員から一言

#### 審査結果発表 (16:15～)

☆審査結果発表

☆こどもファンドアドバイザー・こども審査員サポーターからの感想発表

☆こども審査員からの感想発表

☆審査委員長からの講評 審査委員長 卯月 盛夫



6月21日(日)高知市南部健康福祉センターにおいて、「平成27年度こうちこどもファンド公開審査会」を開催いたしました。

応募6団体が、自分たちが取り組みたいと考えている活動の内容を、パワーポイントや模造紙、時には寸劇やコーラスを交えながら、趣向をこらした方法でプレゼンテーションを行い、審査員にアピールをしました。

## ★審査の流れ

- ①応募団体のそれぞれに、助成申請した活動内容について公開プレゼンテーションをしてもらいます。(持ち時間は3分間)
- ②各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を設けます。(5分間)
- ③公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員11名が、各応募事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、助成をするかしないか、こども審査員と大人審査員が、公開で審議を行います。「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対して、審査員から再度、質疑応答の時間を設けます。
- ⑤公開での審議後、こども審査員11名が、助成するかしないかについての最終判断を行い、こども審査員の過半数、6名以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。
- ⑥審議結果については、公開の場で発表します。



## ★審査結果

応募された6団体すべてが助成と決定しました。

助成団体名	活動のテーマ	審査結果	助成金額
NSP(ナカイバ「バブル」の「外」)おたすけ隊	まもれ、高知 自らの生命をまもり、 我らの地域を救う Nankai Survival Project	採択	200,000 円
一宮家おもてなし隊	一宮家はひとつの大家族やき！！	採択	200,000 円
瀬戸東町1・2丁目元気キッズ	こどもからお年寄りまで仲よく元気なまちづくり ～支え合い 助け合える まちづくりを目指して！！～	採択	200,000 円
高知南高校QOLの会	エンディングカードで人生の質を高めよう	採択	185,000 円
Food Treasure Hunter in Namegawa!	行川の食を他地域に広げる！	採択	200,000 円
APA(あったかハートで安心・安全プロジェクト Asahi)守るんジャー	あったかハートで安心・安全プロジェクト Asahi	採択	200,000 円

※なお、公開審査会の内容の詳細は、平成27年9月発行の「こうちこどもファンド 平成27年度審査会報告書」に掲載しております。

## ★こども審査員からの感想発表

第4期こども審査員の皆さんに、審査員を経験してみたの感想や、応募団体のプレゼンを聞いて審査した感想などを発表してもらいました。



【大原弘靖委員】

2回目のこども審査員をやらせていただきました。今回のプレゼンでは、どの団体も良い発表だったので、どんどん高知が良くなっていくことが分かりました。今日の発表を聞いて、自分たちもどんどん意見を出し合って、どの団体にも活動を手伝っていけるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。



【松岡委員】

本日は皆さん、お疲れさまでした。プレゼンとしては非常にクオリティーも高く、皆さんの本気さが伝わってくるもので、素晴らしかったと思います。中身としては、個人でも私も参加したいなあと思うものが多く、ただそのときに団体名に地元名が入っていたりするので、そこがちょっと引っかかるところでもあります。でも、分かりやすくいいと思います。本日は、有意義な時間をありがとうございました。



【宇賀委員】

今年度で3回目のこども審査員となりました。全団体、助成決定おめでとうございます。3月活動発表会、楽しみにしています。



【西田委員】

6団体の皆さん、お疲れ様でした。今回3回目のこども審査員をやらせていただいています。3年目にして思ったことが、今までは自分の地域に着目したことが多かったと思うのですが、今回公開審査会をさせていただいて、高知市全体に広げていきたいという考えがあったことが、すごく嬉しかったです。自分の地域だけに留まらず、他の地域とも仲良くして行って、高知市全体を元気にできたらいいなと思っています。活動の中で、改善していけるようなことがあれば、それはどんどん良い方向に変えて行って、良い活動・有意義な活動にしてもらいたいと思います。本日は、お疲れさまでした。ありがとうございました。



【押川委員】

今回初めて、審査員をさせていただきました。先週初めて、皆と顔合わせをして、本番どんな風になるのか、緊張と不安、楽しみもありました。6団体の皆さんの活動の内容はすごく良いことだと思うので、3月に行われる発表がとても楽しみです。本日は、お疲れさまでした。



【青木委員】

上から目線だったかもしれませんが、こども審査員サポーターの方に助けられて、6団体の審査を頑張ってきたので良かったです。



【松下委員】

今回2回目の審査員だったのですが、私より年下の人も高知のことを良くしようと思って、ここまで考えているというのを、こども審査員を通して伝わったので、すごく良かったです。



【大原正裕委員】

本日は、お疲れさまでした。今回で2回目ですが、今回また新たに参加していただいた団体の方々の話や、昨年から引き続き参加していただいた団体の話を聞いていたら、高知を良くしたいという思いがよく伝わってきて、内容もとても素晴らしいものだったので、これからも頑張ってください。本日は、ありがとうございました。



【森本委員】

6団体の皆さん、プレゼンお疲れさまでした。そして、おめでとうございます。私は毎年、こどもファンドを見ていますが、今年は工夫している団体が多く見られたので、すごいなと思いました。3月の報告にも期待しています。



【田部委員】

皆さん、おめでとうございます。皆さんの、高知を良くしたいという気持ちが伝わってきました。これからも期待しています。お疲れさまでした。



【家古谷委員】

皆さん、今日はお疲れさまでした。3年目で1番長くやっていて、最年長で最後になるということで、非常に嫌なんですけれども、締めをさせていただきたいと思います。皆さん、悔いのないように全力投球で、3月に会いたいと思います。今日は、例年にないぐらいスケジュール通りに進みましたが、私ども審査員は、審査項目について結構な時間を費やしました。毎年同じような意見が出ますが、去年と同じものにはしたくないということもあって結構な時間を費やしてきました。今年は、3年目が3人、2年目が7人、1年目が1人ということで、全力でやった分、皆さんも全力でやっていただいて、3月の報告会を悔いの無いようにしていただきたいと思います。皆さん今日は本当におめでとうございます。

## 【審査委員長 講評】

卯月 盛夫 審査委員長(早稲田大学社会科学総合学術院教授)



長い時間お付き合いいただきありがとうございました。何人かの審査員が言っているように、こうちこどもファンドの公開審査会としては4回目になります。最初に副市長も言われたように、日本でこどもファンド、要はこどもが申請して、こどもが審査するというものは僕の知る限り、高知が唯一であります。そういった意味で、正直に言うと、子どもが応募するのは大人がある程度サポートすればきるだろう、ただこどもが審査できるのかというのは準備の段階で相当議論をしました。市役所の方は当然ながら、不安もいろいろ言われました。でも僕の立場は絶対できる。言い続けて、何の根拠もないのに言い続けました。今回4回目を体験しまして、ああそう言い続けて良かったなと思いました。これまでの1回目、2回目、3回目もちろん素晴らしかったのですが、でも今日の4回目は今までのいろいろな課題や時間配分等、改善に改善を重ねてきて、今日に至っているということを含めて考えると、素晴らしい会になったと思います。何が素晴らしいかと言うと、応募する側も子どもたち、審査する側も子どもたち、その質疑応答にすべてが凝縮されていると思います。

こども審査員に3回目の審査員が3人、2回目が7人。そのことが僕はとても重要だと思います。任期としては、1年ですが、もう1年やってみたい、やりたいということで2年目3年目に至っています。今日は、大人審査員はもう来年からいらないのではと思うくらいの印象でした。具体的に言うと審査員は何週間も前から申請書をきちんと読んで、あれ？って疑問のある所は本当に細かい所でも、メモしてこれを質問しようって来るんですね。細かい所が良いとか悪いとかではありません。例えば氷代は何に使うのって、なんとなく大人だったら想像して、あえて聞かない所もきちんと聞いている。そういう姿勢を忘れてはいけませんので、それは子どもの良い所ですね。でももっと良いなと思ったのは、申請書をちゃんと見て、質問を用意してくるということに加えて、今日初めてプレゼンテーションを聞いて、申請書には載っていないような質問をするということです。これは準備とかではなく、きちんとプレゼンテーションを聞いていないとできない、さらにプレゼンテーションを聞いて質問して回答してきた、その回答に対してさらに質問するというのはなかなかできません。まして小学生が高校生に質問するなんていうのは、なかなか今の学校の中では考えられないのではないのでしょうか。そういったことが、高知の地域の中で行われているのです。両方とも高知を良くしたいから、真剣に聞き、真剣に答えて、疑問があったらまた質問する、そのことがとても重要です。ずっと申し上げていますが、これは審査会じゃなく、応援会なんですね。要は落とすことが目的ではありません。「高知のまちを良くしよう」という主旨に合致するプロジェクトとして、スタートしてほしいかどうかを見ています。みんな応募していただいたものはスタートしてほしいのですが、ただちょっと趣旨からずれている、お金の使い道がどうかとか、ちょっと大人目線じゃないかなとか。大人のサポートを受けることは絶対必要なんですけど、こどもの目線がなくなってしまうたら困るので、こども審査員たちはそれがあ



るかなということを見て、こうなったらいいな、こうなったらきっと良くなるよと応援する会なんです。今回応募していただいた6団体に、すべての審査員が応援するというメッセージを結果として伝えられたのは、素晴らしかったと思います。

もう一つ、特徴立ったのは他の自治体で大人のファンドのお手伝いをしていて思うのですが、プレゼンテーションが、当然ながらだんだんうまくなってくるんですね。うまくなっていく中で、いろいろな演出があります。今日は、着ぐるみが出てきたりヘルメットが出てきたり、ユニフォームがでてきたり、演劇仕立てが出てきたり、あるいは演奏を含めて歌が出てきたり。プレゼンテーションの限られた時間をうまく使っているものが増えてきました。これは、実は単なる演出じゃないかって思われる方も一部にいるかもしれませんが、そうではなくプレゼンテーションというのは、文書で書くのが申請書ですが文書では伝えられない、それを考えてきた子どもたちが前に出て、人に伝えるというのがどれだけ難しいことかっていうことを体験するわけですね。申請書に書いて、審査員も分からないまま合否が決まる助成金の制度なんて、日本中に山ほどあります。審査員さえも公表してないものが、大人の世界ではとても多いんですね。落ちた理由を教えてくださいれば来年頑張るぞという気になるのに、落ちた理由も教えてくれない。この「こうちこどもファンド」はそうじゃありません。プレゼンテーションする側も人に伝えるということで、新たな表現方法を取らなければいけません。短い時間で分かりやすい言葉で伝えたり、あるいは演技を使ったり。人にあることを伝えたり、人を動かすときには、相手は何をやったらそういう気持ちになってくれるかなと、考えなきゃいけないわけですね。好きなことをやっていけば良いってわけではないですね。そういうことを小学生・中学生・高校生がいろいろ思考錯誤を繰り返して、こういう場で発表して、それで成果も出る。こども審査員も、応募してくれる子どもたちも短い時間ではあるけれどもこの空間の中で、それがパーンとぶつかりあうこの時間・空間はとても素晴らしいと思った次第であります。

最後に申し上げたいことは、我々大人審査員もそうですが、主役は絶対子どもですが、こういう場を作るとか、進行をすとかはやっぱり大人の役割なんですね。大人がきちんとお膳立てをして、子どもがのびのびと発言したり、質疑応答できたり、その場を作るのは絶対大人の役割なんですね。大人が前面に出ないでサポートする、こどもたちの自主性を伸ばせる、その大人のサポートのしくみというのが、この「こうちこどもファンド」の大人の役割として極めて重要です。まさに大人が支えるこの「こうちこどもファンド」をこれからも応援していきたいと思っています。それぞれのグループが、市役所に対してこういうことをお願いしたいというのを3月までの活動の中でどんどん言ってください。大人はそれをサポートすることが仕事だし、それが義務だと思っています。先ほど、アドバイザーの言葉にもありましたが、みんなが具体的な活動をする中で、どっちにしようかなと悩むことがあると思いますが、畠中さんにアドバイスを受けて、良い活動をぜひ続けてください。

最後に入口に、この「こうちこどもファンド」の主旨に賛同していただける方は、募金箱というのがあります。最初に副市長がお話されていましたが、ぜひ大人がこの「こうちこどもファンド」を支えるんだという趣旨を理解いただいて、浄財を少しでもいただければ幸いです。今日は長い時間ありがとうございました。



## 4 助成団体の活動

助成活動期間:平成 27 年7月1日 ~ 平成 28 年2月 29 日

審査会において助成決定された6団体は、それぞれ次のような活動を行いました。

団体名	支援団体等	活動内容	こどもメンバー	大人サポーター (責任者)	実績額 (円)
NSP(カカイガバルブのイ ク)おたすけ隊	南海あったか会議 高知市立浦戸小学校 高知市立長浜小学校	○避難場所の整備(草刈等) ○地域の避難訓練の手伝い ○ポスター・チラシを作成し、地域や桂浜の観 光客に配布	南海中学校3年 計7名	横川 哲夫 南海中学校教頭	200,000
一宮家おもてなし隊	一宮中学校コーラス部	○地域に広がるあいさつ運動の実施 ○高齢者や小学生との交流 ○地域清掃	一宮中学校1年~ 3年 計22名	野中 史子 一宮中学校生徒会 担当教諭	200,000
瀬戸東町1・2丁目元気 キッズ	瀬戸東町1・2丁目内会 老人クラブ八千代会 民生委員	○自分たちが作った野菜を、一人暮らしのお年 寄り宅を訪問しプレゼント ○老人クラブの方と公園清掃 ○老人ホーム、デイサービス訪問 ○地域の他団体とのネットワーク作り	高知愛児園児、横 浜小学校1年・2 年・3年・4年・5 年、土佐塾中学校 1年、横浜中学校 1年・3年 計13名	山本 和範 保護者	199,993
高知南高校QOLの会	特になし	○エンディングカードの作成・配布 ○チラシ・ポスターによるエンディングカード の周知	南高校3年 計5名	岡 昌子 南高校3年2H ホーム担任	80,000
Food Treasure Hunter in Namegawa!	高原会(老人クラブ)	○他地域に「食のカタログ」を広める ○地域の方との交流を深める	行川中学校2年・ 3年 計6名	宮地 鎮代 保護者	197,425
APA(あったかハートで 安心・安全プロジェクト Asahi)守るんジャー	旭小学校区交通安全協議会 高知県警 旭小学校PTA 旭小学校セーフスクール委員会	○安全旗とダンスによる交通安全の呼びかけ ○安全かるたで新1年生や幼稚園児に安全を教 える	旭小学校5年 計5名	岡 敦子 旭小学校校長	162,403



## 5 こうちこどもファンド 助成団体活動発表会

日時:平成 28 年3月 20 日(日) 13 時 30 分～16 時 30 分

場所:高知市南部健康福祉センター 2階大ホール

参加者:約 70 名



### 13:30 開会

☆開会のあいさつ 高知市市民協働部地域コミュニティ推進担当理事 松井成起

☆審査員等の紹介

☆本日の説明

### 13:35～ 助成団体による活動成果発表 開始(6団体発表)

各団体が3分以内で発表し、その発表内容についての感想や質問を、2分以内で「付せん」に書いてもらいます。

### 14:05～ 休憩・投票タイム(15分)

活動発表中に書いた「付せん」を各団体の模造紙へ貼ってもらいます。また、休憩時間中に、各団体の名前を記した投票箱へ投票用紙を入れてもらいます。

### 14:20～ 交流タイム

大人審査員とこども審査員がペアになり、模造紙に貼られた、各団体への感想や質問をもとに、参加者同士の交流をはかります。

### 15:25～ 休憩・投票タイム(15分)

### 15:40～ こども審査員からの感想発表

発表を聞いて感じたことなど、簡単に感想を述べてもらいます。

### 16:00～ 団体表彰

受賞団体に対し、表彰状・表彰盾を授与します。

### 16:05～ 市長からのあいさつ

☆高知市長 岡崎 誠也

### 16:10～ 審査委員長からの講評

☆審査委員長 卯月 盛夫

### 16:20 閉会

### 16:30～ 記念撮影

参加者全員で記念撮影を行います。



3月20日（日）に、平成27年度の助成団体活動発表会が開催されました。6つの助成団体が、自分たちが取り組んだ活動について、1グループ3分以内で発表を行いました。

助成が決定してから8ヶ月間、学業やクラブ活動など、多忙なスケジュールを調整し、自分たちの住む「まち」をより良くしていきたいという思いで、活動してきた子どもたちの発表は頼もしく、大きく成長した姿を見ることができました。



また、参加者には、それぞれの団体の発表に対する、意見や提案・質問を付箋に書いてもらい、発表グループが活動内容をまとめた模造紙に貼ってもらいました。その後の、こどもファンドアドバイザーによる進行で行われた交流タイムでは、貼られた付箋の内容をもとに、審査員と、助成団体とがやりとりを行い、会場内参加者の交流を図りました。





## 【平成 27 年度活動発表会 交流会で出された質問や意見のまとめ】

団体名： NSP (ナカイ サバ イバル プロジェクト)おたすけ隊

### ① こどもメンバーへの質問

- ・にわかは今回演じたもの以外にどんなものがありますか？
- ・どうして坂本龍馬ではなく長宗我部元親にしたんですか？
- ・「にわか」のげきをどうやって作った？
- ・良かった所、改善する所は？
- ・活動するための保険は大切だと思いますが、決算額が0円となっています。どうされましたか？
- ・「NSPにわか」をやったときの反響はどうでしたか？
- ・皆さんの活動をご覧になった方からはどのような感想が寄せられましたか？
- ・1月に行われた成果発表では、小学校が発表したのかNSPおたすけ隊が発表したのかわからないので詳しく教えてください。
- ・防災学習プレゼンでは具体的に何を発表しましたか？
- ・「防災推進課に伺って話を聞きたい」という目標があったようですが、達成できましたか？
- ・9月に「南海中校区保小中の地域住民の地域のふれあいセンター」とあるがここでどのような活動をされたのか教えてもらいたい
- ・漫才はどのように考えているか教えてもらいたい
- ・活動を通しての反省点はないんですか？（今後に向けてのことを）

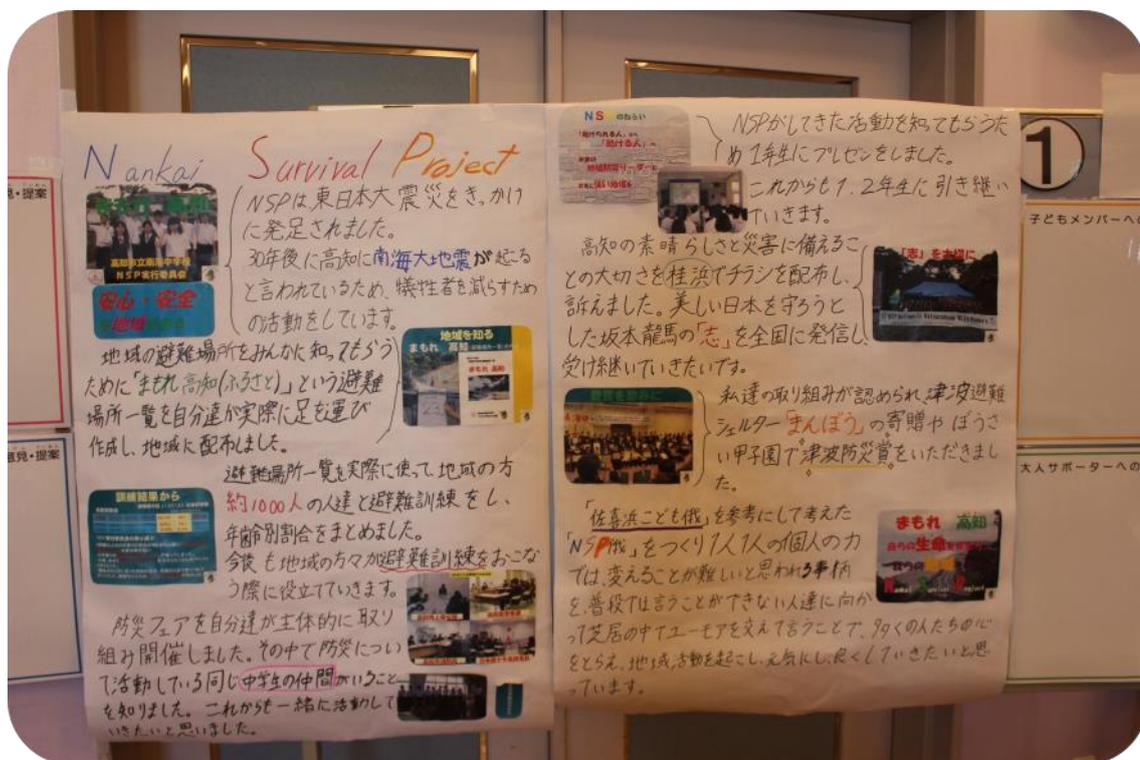
### ② こどもメンバーへの意見・提案

- ・生徒会交流会のときに聞いていて、生で見れてよかったです。これからも頑張ってください！
- ・劇がすごくて発表もとても分かりやすかったです！私たちも、上の人を見て参考にしたいと思います。
- ・歴史上の人物を登場させ防災の大切さを伝えるというのはとても良かったのでつづけてほしい。
- ・実際に机の下にもぐったりして、体験できたので良かったです。NSP覚えました！
- ・すごく良くて、おもしろい発表でした。
- ・すごくおもしろい発表でした
- ・演出がすごくよくてインパクトに残るいい発表だったと思います！
- ・緊急地震速報を流したり劇がなかなか良かった。びっくりしたけどインパクトが大きくてナイスだったと思います。私もすぐには動けなかった！
- ・パフォーマンスが分かりやすくて良かったです。今一番必要な内容でした。ユーモアにあふれていて、おもしろかった。これから地震が起こったときは素早く行動しようと思う。
- ・注目を集める発表の仕方が、印象に残っています。
- ・実際に避難警報を出し、皆を机の下に誘導したのは凄いと思った。なりきって分かりやすく説明していて見ていて楽しかった。
- ・堂々と俄漫才が演じられよかった

- ・劇がおもしろかったです。これからもがんばってください
- ・劇が上手でした
- ・にわかおもしろかったです！
- ・これからもがんばってください
- ・発表の順序や工夫についてはとてもよかったが、もう少し活動内容について詳しく触れて欲しいかった。
- ・発表の内容で活動内容がわからないから、もっと何をしてきたのか発表をして欲しいかった。

③大人への質問、④大人への意見・提案

特になし。



## 【平成 27 年度活動発表会 交流会で出された質問や意見のまとめ】

団体名：一宮家おもてなし隊

### ① こどもメンバーへの質問

- ・ お祭りでは具体的に何をしたんですか？
- ・ 新しく作ったイベントもありますか？
- ・ 炊き出し用品は何時使いましたか。2月の春野町での防災フェスティバルのときでしょうか？
- ・ 来年度に向けてどのような話し合いをしましたか
- ・ 毎日の活動をするにあたり、事前の打ち合わせ・会合は何回しましたか
- ・ 楽しかったところは？来年も参加したいか？
- ・ 6月の「飛び出せ！プロジェクト×α」は何人の参加者が集まりましたか？
- ・ 一番やって良かった～と思う活動は何でしたか。どうしてそう思いますか
- ・ キャラクターづくりについて。どのようなキャラクターをつくりましたか
- ・ 子どもとの交流ではどのようなゲームをしましたか
- ・ 活動をしていてよかった時は何ですか
- ・ 一番つらかったことは何ですか
- ・ Tシャツの後ろにいるキャラは誰ですか
- ・ 来年に向けて考えていると言っていました、来年も応募されるんですか？

### ② こどもメンバーへの意見・提案

- ・ 高齢者、小学生と様々な世代の方々との交流をすることは素晴らしいです！
- ・ ハキハキ言えててすごかったです
- ・ ハキハキ言えていて、すごいと思いました
- ・ 発表がハキハキ言えていてカッコよかったです！
- ・ 大きな声で発表できていてとても聞きやすかったです
- ・ とても分かりやすかった
- ・ 声が大きくて聞きやすさ◎。元気があっていい！
- ・ 看板にTシャツに費用を使いすぎなのでは？と正直感じました
- ・ 地域との交流を多く行っており、とても素晴らしいと思いました
- ・ 地域の方々との交流を多く交流していてすごいと思った。地域が活性化するような活動だと思った。
- ・ 沢山の方との交流をされていてすごいと思った。
- ・ 一宮の地域を良くしようとする思いが伝わってきました
- ・ すごい感謝がけっこう伝わってくる発表でした
- ・ 自分たちが分からない問題を分かる人に聞いて、活動をしていくのは素晴らしいと思いました
- ・ 多くの活動と広い年齢幅で交流していて良かったです！
- ・ はきはき言えていて聞き取りやすい発表でした
- ・ たくさんの人たちと交流し、つながりが深まったと思う
- ・ 地域の人たちの交流することにより、地域の人たちを喜ばせたりすることができるので、とてもいい活動だと思った

③ 大人への質問

・この活動を通じて一宮の課題に子どもたちは何か気づきはありましたか？

④ 大人への意見・提案

特になし



## 【平成 27 年度活動発表会 交流会で出された質問や意見のまとめ】

団体名：瀬戸東町 1・2 丁目元気キッズ

### ① こどもメンバーへの質問

- ・地域団体との交流とはどの団体ですか？
- ・メンバーは最初何人から何人まで増えましたか
- ・あまってしまった作物はどうしたんですか？
- ・4 年目はどんなことをしようと思っていますか？
- ・増えたメンバーも入れて、何人になりましたか？
- ・3 年間の活動で一番楽しかったこと、一番悲しかったことはなんですか？
- ・メンバーの人数、年齢の制限はありますか？
- ・トラブルがおこった所は？

### ② 子どもメンバーへの意見・提案

- ・とても聞き取りやすくよかったと思います
- ・とても元気に発表できていて良かったです
- ・とても聞きやすく、大きな声で発表していたと思います
- ・子どもらしい元気な発表で和ませてもらいました。1 年、2 年、3 年とたくさん活動が続けているのもナイスだと思います。これからもがんばってください！
- ・長いセリフをハキハキと言えていたので、すごいと思いました
- ・小さい子から大きい子が協力しあって活動していたことがわかった。
- ・三年間お疲れ様でした。4 年目もがんばってください
- ・小さい子がいたのにセリフをきちんと言えていて、良かったです。
- ・続けて活動を行うことで、進歩しているのが見えた。これからも続けてほしいです
- ・3 年間の活動は簡単ではなかったと思いますが、若い年齢でなしとげたことはすごいことだと思います。
- ・すごくすごくいい発表だと思いました
- ・継続して活動していることで地域とのつながりが深いと感じた
- ・セリフをきちんと言えていて、よかったと思います
- ・三年間続けてきた活動すばらしく立派でした。四年目には、他の協力者があり良かったですね。
- ・3 年計画を、しっかり活動を行い、これからも続けていける計画をしているのはすばらしいと思いました。
- ・小学生が積極的に地域づくりに参加しようとする気持ちが素晴らしいです
- ・この3 年間でまちづくりをがんばった様子がよくわかりました
- ・元気に発表できていてこれからの活動もがんばろうとおもえました

### ③ 大人への質問

- ・活動を継続するためには何が必要ですか？
- ・子ども達が成長したと思うところは？

- ・野菜づくりは商業化していくのか
- ・交流会材料代が、予算額 43,000 円が 0 円になっていましたが必要なかったですか

④ 大人への意見・提案

特になし



## 【平成 27 年度活動発表会 交流会で出された質問や意見のまとめ】

団体名：高知南高校 Q O L の会

### ① こどもメンバーへの質問

- ・マイライフカードの配布方法は？
- ・配布したのは学校だけですか
- ・元はエンディングカードだったがなぜマイライフカードに変えたのですか？
- ・マイライフカードを作ろうと思ったきっかけは何ですか
- ・なぜエンディングカードを作ろうとおもったんですか
- ・表紙の絵は自分たちで書きましたか？
- ・学校での生徒たちの所持率はどのくらいですか？
- ・マイライフカード自分も使うか
- ・広報の費用として予算額 120,000 円が 0 円になっていますが活動内容に変更がありましたか
- ・活動するなかで気をつけていることは何ですか？

### ② 子どもメンバーへの意見・提案

- ・自分たちで考えた事が素晴らしい。折角だから販売してはどうですか
- ・マイライフカードを年齢層に分けて作成するといいんじゃないかと思う
- ・この活動力をもっと広めて欲しいと思うので後輩などに活動を引き継いでみてはいかがでしょう
- ・さすが高校生、目のつけどころがちがうなと思いました。よかったです
- ・自分も使ってみたいと思った
- ・命の大切さについて改めてわかりました。とてもよかったです
- ・色々な人の意見をまとめて発表したことがよかったと思う
- ・死について生半可な気持ちではいけないことがわかりました
- ・すごくがんばって活動していたことがわかった
- ・カードを作成することによりたくさんの事を学ぶ事ができよかったですね。今日から利用します
- ・粘り強く最後まで良く頑張ったと思います。この経験は必ず将来にいかされると感じました
- ・命がどれだけ大切か分かった
- ・命の大切さを改めて分かりました
- ・私は命の大切さを改めて感じました

### ③ 大人への質問

- ・「生きる事」や「人生には期限がある」という大きなテーマを持ち、大人からの目線でも何か考え  
方などは変わったか

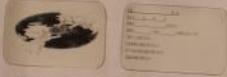
### ④ 大人への意見・提案

特になし

# マイライフカード<sup>高知南高校</sup>

QOLの会

1



初めはエンディングカードという  
名前で作成しました。

2



①より項目をふやしました。  
(持病や遠慮音についてなど)

3



アドバイスを頂き、  
柔軟な内容にしました。

4

**完成!!**



『エンディングカード』という  
名前から  
『マイライフカード』に  
名前を変更しました。  
色んな方のお話を聞いて、  
カードのサイズも変更し、内容を充実させ、  
より実用的なものにしました。  
そして、完成したカードを  
病院やサービスに配布しました。

## 【平成 27 年度活動発表会 交流会で出された質問や意見のまとめ】

団体名 : Food Treasure Hunter in Namegawa !

### ① こどもメンバーへの質問

- ・立派なカタログで申し訳ないのですが少しあまっていれば5月8日に行われる「よこせと海辺のにぎわい市」で紹介していただけませんか？
- ・「食のカタログ」の配布方法は？
- ・なぜ城山散策もすることになったのですか？
- ・なぜパンフレットの裏のキャラはどんぐりなんですか？
- ・行川の方が教えてくれたレシピだから、行川の料理なんですか？それとも行川の有名なものでつくっているからですか？
- ・地域の人たちに手作りの大学芋をあげたいと言っていましたが、どのようにして、あげたのですか？家を一人ひとり訪れて渡したのですか？
- ・新メンバーの呼び込み、方法は決めていますか？
- ・活動を通しての反省点、課題とかはありますか？
- ・カタログのレシピにお世話になった人の顔と名前が書いてあったけどないものがあったのはなぜ？
- ・自分達が作った料理の中で一番おすすめなのは何ですか
- ・3年目の活動についてはどのように活動していくと考えているか教えてほしい
- ・3年目も活動されるのですか？
- ・今後の活動予定は？
- ・実際に商品化はしていく予定はありますか

### ② 子どもメンバーへの意見・提案

- ・カタログを拝見して美味しそうな料理ばかりで活動の深さがビシビシ伝わってきました！ショウガ入り大学芋がとっても美味しそう、食べたい！
- ・ご飯などがよくわかった
- ・パンフレット活用させていただきます
- ・今後も行川の食をより多くの人に知ってもらい、積極的に行動してもらいたい
- ・生姜のよさがとても伝わってきました
- ・おいしそうな料理が多く、自分も使ってみようと思いました。
- ・来年度は地域と協力して6次産業化につなげることができないでしょうか
- ・沢山の食べ物を1つの冊子にまとめていたのは凄いと思ったし、地域の方と沢山交流していたのは良いなと思いました
- ・学校を卒業しても行川の皆さんとの交流が続きそうな予感がします。素敵ですね
- ・自分たちのしたいことを形にできて、よかったと思います。カタログも大変見やすいです
- ・活動の結果がパンフレットなど形に残るもので良いと思った。
- ・パンフレットには色々な料理、その作り方がのっているので、いいと思います

- ・カタログなど、食など、文化として残る活動ですごく良かったです
- ・昨年の報告会でいただいた冊子がすばらしいと思ってましたが、今年のはるかに上回るものができる、また根気強く活動した成果が実ったと思います
- ・地域のものを使用するだけでなく、交流にもつながっていて良い活動だと感じました
- ・冊子の出来が良いですね。外部で活用できると活性化にもつながります

③ 大人への質問、④ 大人への意見・提案

- ・特になし



## 【平成 27 年度活動発表会 交流会で出された質問や意見のまとめ】

団体名：A P A(あったかハートで安心・安全プロジェクト Asahi)守るんジャー

### ① こどもメンバーへの質問

- ・カルタはどのような内容をかきましたか？
- ・幼稚園、保育園にはそれぞれいくつぐらいカルタを渡したのですか？
- ・「安全かるた」の評判はどうですか？
- ・安全かるたをこれからもっとつくっていくことはしていくか教えてもらいたい
- ・呼びかけたことでヘルメットをかぶってくれる人は増えましたか
- ・ヘルメットをかぶって自転車に乗る人は増えましたか？
- ・ダンスの振り付けはどうやって決めたのですか？
- ・安全のぼり旗の取り付け、取り外しは自分達でしていますか
- ・小学生には難しい漢字を使った利用五則をどういう感じで説明をしたのですか？(言葉の内容みないな？)
- ・かるたを配って、なにか効果はありましたか？
- ・A P Aのメンバーが違反をすることはないのか？
- ・警察の方に来てもらって学んだことは？
- ・今後はどのような活動を行うつもりですか

### ② 子どもメンバーへの意見・提案

- ・安全かるたは小さい子どもにもわかりやすく良い活動だと思いました
- ・小学生らしいテーマで良い。精一杯取り組んでいるところがしっかり伝わってきた。ヘルメットがかわいい。交通安全私も改めて見つめなおさなくてはな、と振り返ることができました。これからはがんばってください
- ・自分で旗のデザインをされていて驚いた
- ・小さい子にも交通のことについて教えていてすごく良いなと思いました
- ・小学生のときから自転車の安全について考えるのはすごい
- ・学校だけでなく、地域にも呼びかけを行い、旗やダンスなど工夫をして安全についての呼びかけをされていてよかったです
- ・地域やいろんな場所で活動していて、凄いと思った。活動を続けていくことで地域の人たちの安全を守れるものだと思う
- ・乗り方だけでなく停め方などもやってはどうか
- ・自転車利用の多い中学生にも呼びかけをしていってはどうか
- ・小学校だけではなく、中学校、高校と使う自転車なので、小学校のころからルールを身につけるための活動としてすごくよかったとおもいます
- ・ダンスを作ったほうが伝わりやすく良いとおもいます
- ・地域の安全について着目したところが良いと思います
- ・子どもにとって一番大切なことを、同じ子どもたちの目線でしている活動、とても共感しました。

がんばってください。かるたがよかった

③ 大人への質問

- ・交通安全の呼びかけの時に(道路などで)子どもの安全は確保されたか
- ・タクシー代は必要なのか？

④ 大人への意見・提案

- ・特になし



## ★団体表彰

平成 27 年度活動発表会では、以下の賞を決定し、表彰しました。

- ✿ ベストパフォーマンス賞・・・発表団体（1 団体 1 票）、一般来場者（1 人 1 票）が投票し、獲得票数が一番多かった団体を表彰。
- ✿ ベストこどもファンド賞・・・発表会でのプレゼンテーションや活動内容等、トータル的に見て、一番素晴らしかったと審査員が感じた団体へ贈る賞。こども審査員、大人審査員全員が投票を行い決定。
- ✿ ベストピカッと賞・・・・・・・考え方や発想に工夫・面白さが感じられる活動を行った団体へ贈る賞。こども審査員、大人審査員全員が投票を行い決定。

### 【ベストパフォーマンス賞】

**APA(あったかハートで安心・安全プロジェクト  
Asahi)守るんジャー**



### 【ベストこどもファンド賞】

**Food Treasure Hunter in Namegawa!**



### 【ベストピカッと賞】

**NSP(ナンカイ サバイバル プロジェクト)おたすけ隊**



## ★こども審査員からの感想

第4期こども審査員の皆さんに、審査員を経験してみたの感想や、助成団体の活動発表を聞いて感じたことなどについて発表してもらいました。（松下委員、松岡委員は欠席）



【大原弘靖委員】

今回の活動報告を聞いてとても皆さんが地域のことについて考えている活動などを聞いて、とても感心して、これからも続けてほしいということや、この団体を大きくしてほしいということを思いました。今回、活動報告を聞いてとても良かったです。ありがとうございました。



【押川委員】

今回の活動報告を聞いてどのグループの皆さんも地域に貢献しようと頑張っている姿を見られてとても楽しかったです。これからも頑張ってください。ありがとうございました。



【青木委員】

去年したときよりも活動がすごくて、前よりも感動したので、次の発表が楽しみです。ありがとうございました。



【田部委員】

僕は去年に引き続き2年目なんですけど、1年目の人もすごかったですけど、2年目3年目の団体はグレードアップしていて聞いていて楽しかったです。これからも楽しかったです。ありがとうございました。



【宇賀委員】

1年間お疲れさまでした。私は3年目で審査員卒業なんですけど、次は団体側さんのほうへ行けたらいいなと思っています。



【森本委員】

約1年間お疲れさまでした。今日やはり良い団体が多いなと思いました。これからも続けていってほしいなと思います。ありがとうございました。



【大原正裕委員】

皆さん約1年間の活動お疲れさまでした。僕は審査員をやって2年目なんですけど、去年から引き継いで活動されてきた団体さんや新しく活動を始めた団体さんもいて、皆さんがそれぞれより良い活動をしていきたいという気持ちが伝わり、僕も皆さんのその前向きな感じを見習っていこうと思いました。ありがとうございました。



【西田委員】

皆さんこれまでの活動、そして今日の発表お疲れさまでした。今回は新しい趣旨の活動もあったりして、これまでに比べて活動内容もどんどん多様化してきて、1年目よりも2年目、2年目よりも3年目とどんどんグレードがアップしているように感じます。私も今回で審査員は終わりとなりますが、皆さんこれからも活動頑張ってください。応援しています。ありがとうございました。



【家古谷委員】

今日は皆さんお疲れさまでした。今日は審査会の時のように、文章が飛びことなく言えると思いますが、Food Treasure Hunter in Namegawa! のパンフレットの凄さに驚かされたんですね。自分たちで商品開発されたそうで、自分たちの写真なんて載せたらいいんじゃないかって思いながら聞いていましたが。西田さんも言っていたように、全体的に多種多様化してきてますので、もっともっと発展していけばいいと思います。私は高校1年から3年間やってきましたけれど、やはり同じものは出てこないの、どんどん広げてやってもらいたいし、高知市をもっと良くしてもらいたいなと思います。3年間本当にありがとうございました。



## 【審査委員長 講評】

### 卯月 盛夫 審査委員長(早稲田大学社会科学総合学術院教授)



こうちこどもファンドも今年度で4年目を迎えたということです。この制度を始めるにあたり、どういうファンドを作ろうか、子どもたちにどういふ呼びかけをしたら集まってくれるだろうか、市役所の方々といろいろ議論をしました。市役所がやる事業はだいたい3年目くらいから少し応募件数が減ってくるとか、当初の盛り上がりが減ってくるかがままあるのですが、このこうちこどもファンドに関しては、全くそういう状況はないと今日感じました。こども審査員の西田委員や家古谷委員が言っていたとおり、非常に高知らしい多様な活動が見えてきたということは素晴らしいことです。また、今回助成の6団体のうち、3団体が初年度、2年目が2団体、3年目が1団体、とても良いバランスで継続性を保っています。さらに、瀬戸東町1・2丁目元気キッズのように、学校単位ではなく地域で活動をしているグループが1つ、あとは小学校単位の旭小学校、中学校単位の南海中学校、一宮中学校、行川中学校、高校単位の高知南高校。あまりバランスについて言う必要はありませんが、とても良いバランスでいろいろな地域から応募が上がってきたという印象をまず持ちました。

今日感じた細かな話をいくつかします。1つ目は、それぞれ独自にTシャツやトレーナーを着ているグループがいますね。最初はこういうファンドで、Tシャツやトレーナーを作っているのかという議論が一部にはあったのですが、僕はとてもいいと思います。1つは自分たちが何を目標としているのか、地域の中で活動するのってやっぱり恥ずかしいよね、なかなか学校から一歩外に出て、知らない人たちと話したりするのは結構恥ずかしいじゃないですか、あるいはちょっとカッコ悪かったりするじゃないですか。でも同じユニフォームを着てよし行くぞって行くと何か盛り上がりが出てくるし、自分たちもまとまりも出てきて活動しやすいという、そういう意味もあったと思います。ただ僕が知らなかったことを1つ学んだのは、瀬戸東町1・2丁目元気キッズのTシャツの後ろには、野球選手と同じように、名前が書いてある。これはまちづくりの現場を見てきて初めてですね。これも結構恥ずかしいんじゃないかと思いますが、でも地域に出て、〇〇くんとか、〇〇さんって名前を呼んでもらってコミュニケーションを図るといふのは、これは1つまちづくりグッズとしては良い展開かもしれないと思いました。だから皆、他も作れという意味ではありませんが、活動の内容によっては、このTシャツを作って皆さんに知っていただくといふのはとても良い内容だと思いました。

2つ目に感じたのは、高知南高校QOLの会、Food Treasure Hunter in Namegawa!、この2つのグループに共通しているのは、人の話をきちんと聞くというプロセスを大事にしたことだと思います。高知南高校QOLの会は、最初はカードの名称をいろいろ考える中で、社協の方とか病院の方とかいろんな方の所に行って、話を聞く中で、マイライフカードという名称を決めました。当初自分たちが考えていたことと少しずつ変えながら、目標を達成していきました。自分たちの思いを持って突っ走るという活動もそれはそれで重要ですが、人の話を聞く中で少しずつ修正していく、これがまちづくりの中でとても重要なんですよね。行川の今回のカタログにしても、何人もの市民の方からヒアリングしてり、きちんとお話を聞いていたりしますね。そういう市民の方々に話を聞きながら、





その成果として成果物を出しています。今日審査員席に来たときに、この2つの成果物が机の上にあ  
り、あれっと思いました。今までも1年間の成果というものが、ビジュアルで見られるというのはあ  
ったかもしれませんが、特に今回はこの2つのグループの成果物にとっても興味を持ちましたし、これ  
は皆さんにとっても、1年間の活動の成果になっていると思います。ぜひこのできた成果というのを  
ここで終わらせないで、ヒアリングやアドバイスをしてくれた方々に持って行って、「お話を聞かせて  
いただいてどうもありがとうございました。私たちはこんなものができました。」という形でお礼を言  
ってそこでまたつながってほしいと思います。そういうためにこの資金というものはあると思  
いますので、この2つのグループが人の話を聞きながら成果物を作って、これがこれからどんな形で  
普及していくのかというのは、市役所が考えているまちづくり、子どものまちづくりの方向ではない  
かと思います。もう1つ成果物ということ言えば、ベストパフォーマンス賞を獲ったAPA（あつ  
たかハートで安心・安全プロジェクト Asahi）の活動。この活動は今年が初年度ということで、昨年  
6月の公開審査会の時は大丈夫かなと少し思ったのを覚えています。今日の発表はとても素晴らし  
かったです。何が素晴らしいかというと、テーマが非常に身近であった、自分たちのテーマであった  
ということだと思います。地域のために何かやってあげようとか、高齢者のためにやってあげよう  
とか、それももちろん重要ですが、そうではなくて、自分たちが毎日乗っている自転車とか、毎日暮ら  
していく中で、足元を見つめて、テーマを課題化したという所に大変好感を持ってたわけです。成果物  
ということ言えば、のぼり旗とかかかるとか、これらは子どもたちにはぱっと見て分かるし、遊びな  
がら分かります。そういうまちづくりのツールを開発したというのもとても素晴らしかったです。後  
で、かるたを見せていただきたいと思います。

もう1つ。今回3年間の活動を終えて、瀬戸東町1・2丁目元気キッズがめでたく「卒業」という  
形になりました。「卒業」という言葉はどういう響きになるか分かりませんが、お金の切れ目が縁の切  
れ目みたいにならないようにしていただきたいと思います。僕は、瀬戸東町1・2丁目元気キッズは、  
1年目のときから、これは何かおもしろいなという直感がありました。それは、やえもすると学校単  
位の活動が多い中で、学校を越えて、小・中学生と当初は高校生はまだいなかったと思いますが、と  
地域の方々が、地域の使わなくなってしまった畑や高齢者を食でつなごう、野菜の栽培を教えてもら  
いながらつなごうという一種の環境学習ですが、これがまちづくりのいろいろな側面を非常に持って  
いて、他のグループにも参考になるようなノウハウがあったように思います。このこうちこどもファ  
ンドの優秀な卒業生として、ぜひ4年目の活動として、先ほどアドバイザーの畠中洋行さんからの声  
かけによって、いくつかの団体とのネットワークがすでにできつつあるかもしれません。これが市役  
所・アドバイザーの仕事だと思し、卒業してさよならではなくて、卒業したということをきっかけ  
にさらに他の地域と交流を深めていってもらえたらと思います。食とこどもと緑。緑というのは畑の  
野菜作り。この3つが今のまちづくりに携わる多くの人にとってキーワードだと思います。その3つ  
をテーマにしたということで、瀬戸東町1・2丁目元気キッズの活動は高く評価できると思いました。

皆さんどうもありがとうございました。ご苦労さまでした。



## 6 高知市子どもまちづくり基金 平成 27 年度実績

こうちこどもファンドは、平成 24 年度に創設した「高知市子どもまちづくり基金」を原資に運営をしております。制度を長期に渡り、継続していくためには、少しでも多くの企業や団体、市民の方から、こうちこどもファンド制度の趣旨に対してご賛同をいただき、寄附金という形でご支援をいただくことが必要です。

未来のまちづくりを担う子どもたちを社会全体で支援し、その温かい支援や協力を子どもたちが感じながら活動していく中で、子どもたちは「夢の実現」だけではない、たくさんの学びや成長を得ることができると考えています。

平成 27 年度には、4 件の企業・団体・個人の方から 173,000 円のご寄附をいただきました。

こうちこどもファンド制度が、安定した運営をしていけるように、今後ともご支援をいただければ幸いです。

### ★平成 27 年度に寄附をいただいた方々

#### 〈〈企業・団体 様〉〉

三愛石油カスタマーサービス株式会社 代表取締役 池田 宜弘 様

株式会社 豊栄電気工事 代表取締役 吉村 保利 様

#### 〈〈個人 様〉〉

久川 憲四郎 様

山本 吾一 様

また、平成 27 年度から新たな取組として、募金箱の設置を行いました。領収等の発行は行わず、こどもファンドを応援してくださる方からの善意の募金という形で運営しています。1,000 円以上の募金で、こどもファンドの特製バッジを差し上げています。

平成 27 年度は、33,666 円の募金をいただき、「高知市子どもまちづくり基金」に積立させていただきました。



## 7 プラチナ大賞にて審査委員特別賞受賞

豊かで光り輝く社会を目指して、地域の課題解決や新たな可能性の創造に取り組んでいる自治体や企業などを称える、プラチナ構想ネットワーク主催（総務省、経済産業省等後援）の「第3回プラチナ大賞」に「こうちこどもファンド」を応募しました。一次審査の書類審査を通過し、10月23日（金）に開催された最終審査発表会の結果、「審査委員特別賞」を受賞しました！



## 8 今後に向けて

平成28年度は、「こうちこどもファンド」がスタートして5年目を迎えます。

毎年子どもたちの意欲的なまちづくりの提案があることを嬉しく思う一方、事務局が応募団体の確保に苦勞している現状もあります。制度のテコ入れを図っていく時期に差しかかっていると感じています。応募団体の子どもたちやサポートする大人にとって、どのようにすれば応募しやすいのか、使いやすい制度なのかを中心に考えながら取り組んでいく必要があります。

また、これまでは学校を基盤とした活動での応募が多く、指導教員の異動により活動の継続が難しかったり、学校活動が優先されたり、学校に関する他の補助金制度へ申請されたりと、不安定な面があります。解決策の1つとして、当課で取り組んでいる再構築事業の地域内連携協議会をはじめとした、地域を主体とした活動での応募につながればと考えています。そうすれば、地域を巻き込みながらのまちづくり活動を展開することができ、子どもを中心としたまちづくりの活性化を図ることも可能ではないでしょうか。

子どもが申請し、審査をするのも子どもたちという「こうちこどもファンド」のしくみは、全国でも先駆的な取組で、高知市のまちづくりに興味を持つ子どもたちを増やしていくきっかけの1つになっているのではと思っています。小さいうちから、自ら住む地域のことに関心を持ち、活動していくという意識が育つことで、大人になってからも、地域活動に参加することが自然と感じる人材を増やしていけるのではないかと考えています。「こうちこどもファンド」が少しでも地域活動の担い手不足という課題解決につながる手段となればと考えています。

今後とも「こうちこどもファンド」のご支援をよろしくお願いいたします。

# 資料編

★高知市子どもまちづくり基金条例

★高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

★平成 27 年度活動発表会アンケート結果

- ・一般来場者
- ・発表団体向け(対象:子ども)
- ・発表団体向け(対象:大人サポーター)

★「こどもファンド通信」第 14 号（平成 27 年5月発行）

★「こどもファンド通信」第 15 号（平成 27 年7月発行）

★「こどもファンド通信」第 16 号（平成 27 年 11 月発行）

★「こどもファンド通信」第 17 号（平成 28 年3月発行）

★平成 28 年度こうちこどもファンド助成事業募集チラシ

★第5期こども審査員募集チラシ

# 高知市子どもまちづくり基金条例

(平成 24 年 4 月 1 日条例第 23 号)

## (設置)

第 1 条 子どもたちが主体となって取り組む子どもまちづくり活動を推進することにより、本市の将来を担う人材の育成を図るとともに、本市におけるまちづくり活動を活性化させるため、高知市子どもまちづくり基金（以下「基金」という。）を設置する。

## (基金の積立て)

第 2 条 基金として積み立てる額は、一般会計歳入歳出予算で定める。

2 基金をより効果的に運用するため、基金の設置目的に沿う市民又は法人その他の団体の寄附金は、前項の積立額に充てることができる。

## (管理)

第 3 条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

## (運用益金の処理)

第 4 条 基金の運用から生ずる収益（以下「運用益金」という。）は、一般会計歳入歳出予算に計上して、基金の設置目的を達成するために行う事業の経費に充てるものとする。

2 前項に定める事業の経費に充当したものを除き、運用益金は、一般会計歳入歳出予算に計上して、基金に積み立てる。

## (処分)

第 5 条 市長は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、一般会計歳入歳出予算の定めるところにより、基金の全部又は一部を処分することができる。

## (繰替運用)

第 6 条 市長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

## (委任)

第 7 条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

## 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## 高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、高知市子どもまちづくり基金条例（平成24年条例第23号）第1条に規定する基金の設置目的を達成するため、高知市子どもまちづくり基金助成金（以下「助成金」という。）を交付することについて、補助金等の交付に関する条例（昭和29年条例第19号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

### (助成対象団体)

第2条 助成金の交付の対象となる団体（以下「助成対象団体」という。）は、次に掲げる要件のすべてを満たす団体とする。

- (1) 本市に在住又は通勤若しくは通学している18歳以下の子どもが3人以上いること。
- (2) 団体の責任者及び監査として、20歳以上の大人が2人以上いること。
- (3) 活動の目的が明らかであり、当該助成に係る事業を自主的に行えるものであること。
- (4) 複数の世帯で構成される団体であること。
- (5) 過去に、同一の事業についてこの要綱に基づく助成金の交付を3回以上受けていないこと。
- (6) 団体の運営に関する規約、会則等を定めており、適切な会計処理が行われていること。

2 前項の規定にかかわらず、助成対象団体が、高知市事業等からの暴力団の排除に関する規則（平成23年規則第28号。以下「規則」という。）第4条各号のいずれかに該当すると認める場合は、助成金の交付の対象としない。

### (助成対象事業)

第3条 助成金の交付の対象となる事業（以下「助成対象事業」という。）は、本市内において、子どもが主体となって取り組むまちづくり活動に係る事業とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる活動は助成対象事業としないものとする。

- (1) 営利を目的とする活動
- (2) 宗教的又は政治的な活動
- (3) 学校の授業の一環として行う活動

### (助成対象経費)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、助成対象団体が行う助成対象事業に要する経費とする。

### (助成金額)

第5条 助成金額は、助成対象経費の額を限度として予算の範囲内において、市長が認める額とする。

### (助成金の交付申請)

第6条 助成対象団体は、助成金の交付を受けようとするときは、助成金交付申請書（様式第1号）に、必要書類を添えて、市長に申請しなければならない。

### (助成金の交付決定)

第7条 市長は、前条の申請があったときは、その内容を審査し、助成金の交付の可否を決定し、適当と認めたときは助成金交付決定通知書（様式第2号）により、適当でないとは認めるときは所定の助成金交付却下通知書により当該申請をした助成対象団体に通知するものとする。

2 市長は、助成金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。

(交付申請の取下げ)

第8条 前条第1項の規定により助成金の交付決定を受けた助成対象団体(以下「助成事業者」という。)は、その内容又はこれに付された条件に不服があり、交付申請を取り下げようとするときは、当該交付決定の通知を受けた日から2週間以内に、その旨を所定の助成金交付申請取下届出書により市長に届け出るものとする。

2 前項の規定による申請の取下げがあったときは、当該申請に係る助成金の交付決定はなかったものとみなす。

(変更承認等)

第9条 助成事業者は、助成金の交付決定を受けた事業(以下「助成事業」という。)について、事業内容を変更し、中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ助成事業変更等承認申請書(様式第3号)により、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、変更等の可否を決定し、所定の助成事業変更等承認(否認)通知書により当該申請をした助成事業者に通知するものとする。

(実績報告)

第10条 助成事業者は、助成事業が完了したときは、速やかに実績報告書(様式第4号)に、関係書類を添えて市長に報告しなければならない。

(助成金額の確定)

第11条 市長は、前条の報告があったときは、速やかにその内容を審査し、助成事業の成果が助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき助成金額を確定し、助成金額確定通知書(様式第5号)により助成事業者に通知するものとする。

(助成金の交付請求及び交付)

第12条 助成事業者は、前条に規定する助成金額の確定通知を受けたときは、助成金交付請求書(様式第6号)により市長に助成金の交付を請求するものとする。

2 市長は、前項の請求があったときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めるときは、助成金を交付するものとする。

(助成金の概算払)

第13条 市長は、助成事業について必要があると認めるときは、助成金の概算払をすることができる。

2 助成事業者は、概算払を受けようとするときは、助成金概算払請求書(様式第7号)により、市長に請求しなければならない。

(助成金の交付決定の取消し)

第14条 市長は、助成事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、助成金の交付決定を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (2) 規則第4条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 助成金を助成事業の目的以外に使用したとき。
- (4) 助成事業の実施方法が不相当と認められるとき。
- (5) 助成事業を中止又は廃止したとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件その他この要綱に基づく命令に違反したとき。

2 前項の規定は、助成事業について交付すべき助成金額の確定があった後においても適用があるものとする。

3 市長は、第1項の規定による取消しをしたときは、所定の助成金交付決定取消通知書により、助成事業者へ通知するものとする。

(助成金の返還)

第15条 市長は、前条第1項の規定に基づき助成金の交付決定を取り消した場合において、助成事業の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金を交付しているときは、期限を定めて、その返還を命じなければならない。

2 市長は、助成事業者へ交付すべき助成金額を確定した場合において、既にその額を超える助成金を交付しているときは、期限を定めて、当該確定した助成金との差額の返還を命じなければならない。

(調査等)

第16条 市長は、助成事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、助成事業者に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査をすることができる。

(整備保管)

第17条 助成事業者は、助成事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、助成事業の完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

(その他)

第18条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

**【発行】**

**高知市 市民協働部 地域コミュニティ推進課**

〒780-8571 高知市鷹匠町 2 丁目 1-43

TEL/088-823-9080

FAX/088-824-9794

<平成 28 年6月発行>